

重点項目(3か年計画)

- 1 利用者サービスの向上
- 2 経営基盤の安定化
- 3 採用・育成と働きやすい職場づくり
- 4 地域とのつながり
- 5 施設整備および環境整備

1 利用者サービスの向上

- ・本人、家族にサービス担当者会議への参加を基に行事等の企画にも参加とする
- ・事前準備と家族を交えたサービス担当者会議を実施する
- ・感染症対策を継続し、BCPに沿って利用者の安全を最優先する
- ・感染症及びその他リスクを想定したうえで面会方法を柔軟に変更し行っていく
- ・医療対象者受け入れに向けた各種専門職種間会議を開催する(意見交換会)
- ・BCP計画の更なる具体化とBCMの確立しPDCAを機能させ計画を随時見直していく
- ・利用者、ご家族へサービス計画書の説明と同意を丁寧に行う
- ・権利擁護虐待防止、事故防止の体制及び仕組み作りに全職員で取り組む
- ・居宅介護支援事業所の統合に向けた準備とサービスの拡充(10/1)

2 経営基盤の安定化

- ・各種事業目標稼働率を達成するため、各事業、生産性向上に努める
特養:95% 短期:100% 通所:70% 認知症対応型通所:83%
- ・毎月の経営会議(第4月曜)での動向確認と対策の検討 超過勤務・水光熱費の動向を確認する
- ・各事業、加算算定の準備及び算定に向けて取り組む
- ・管理者、係長、主任職員においてはリスクマネージャー研修を計画的に受講する

3 採用・育成と働きやすい職場づくり

- ・適正配置化の推進
(ご利用者の生活空間と職員育成を兼ねたチーム構成)
- ・職務要件に基づくチャレンジプランの作成し必要時、職務要件表をチェックとして活用する
- ・介護保険制度の理解、気づきが繋がるアセスメント能力の向上に取り組む
- ・ICT、福祉機器を計画的に導入し、介護現場の環境を整える
- ・職員カフェを定期的に行うことで職員間のコミュニケーションの場とする
- ・虐待の芽チェックシート・アンガーマネジメント研修を定期的に行い権利擁護の意識を維持する

4 地域とのつながり

- ・感染状況及び対策を取り、地域との連携行事の工夫再興する
(春:桜見・夏:納涼祭 秋:防災 冬:餅つき)
- ・食事サービスと連動して見守りや服薬確認など更に拡充する
(朝食・昼食・夕食ごとのサービス内容を考案する)
- ・災害に備えた、地域との連携と合同訓練及び、地域実態の把握
- ・地域・行政・医療・介護保険事業所とのさらなる連携を強化する
- ・エリア内の2包括と連携のもと、施設機能を地域へ発信する

5 施設整備と環境整備

- ・今後の施設整備計画を指定管理者の府中市と引き続き協議を進める
- ・感染症並びに災害時の備品(保温、トイレ等)の準備、非常食の定期的入替
- ・運営協議会、オンブズパーソンによる施設内巡回の実施
- ・ご家族との憩いスペースの設置を検討する